

## 「信頼される」とは？ 「誠実な対応」とは？

水戸教育事務所人事課長 埴 次男

学校は、様々な問題（事案、苦情等）が起こるところ。

すべての学校で、その問題をしっかりと受け止め、日々、その問題解決に向けて、対応策を検討し、具体的な対応を積み上げていっていることと思います。そして、この取組が、日常の教育活動を安定化させ、学校が子供たちにとって学びやすい、生活しやすい場の基盤づくりにも繋がっているとも考えます。また、各先生方にとっても、こういった場面で、一つ一つ丁寧に対応していただいたり、自身の指導を振り返ったりすることが、各先生方の指導力、対応力等の向上においても大変貴重な場面となっていると考えます。

しかし、問題によっては、当事者の納得が得られず、問題が長期化、複雑化してしまうといった事例が増加してきているのも事実です。このことで、その対応に追われ、学校の雰囲気落ち着かないものになり、先生方も日々の勤務に精神的に疲れてしまい、気持ちにゆとりをもって子供たちに向き合えないといったことも起こりがちです。

そこで、子供たちにとっても、先生方にとっても、そして保護者、地域等、学校にかかわるすべての人々が生き生きと活動する姿をめざして、下記の①～④（抜粋：「信頼される学校づくりをめざして－保護者との適切なかかわりのために－ 平22年2月 茨教委」）について、改めて確認していただき、学校一丸となった取組をよろしくお願いいたします。

- ① 学校教育は、保護者や地域の方々から信頼されてこそ成立していくもの
- ② 学校に寄せられる声を貴重な意見として受け止め、誠実に対応  
【保護者や地域の方々から寄せられる声への心構え】
  - ・子供を思う気持ちから発せられたもの
  - ・学校をよくしたいとする思いや善意のもの
  - ・行き違いや誤解によるもの
- ③ 保護者等の気持ちや訴えをしっかりと受け止めることが大切
  - ・傾聴に徹する
  - ・主訴をとらえる（話の背景をつかむ）
  - ・正確に事実を確認する
  - ・話を整理してあせらず対応する
- ④ 日頃からの関係構築が何より大切
  - ・日頃から教員と保護者等とがしっかりと人間関係を構築



U・Y作 ちぎり絵  
「お月見（十五夜）」

上記の内容に「信頼」、「誠実」という2つのキーワードが入っています。お一人お一人の先生方にとって、それぞれの言葉の意味、そして具体的にどうすることか、じっくりと考えていただければと思います。

### 春夏冬話（あきない話）コーナー

### 「児童生徒理解の大切さ」



20代後半の頃、文部省（現在は文部科学省）指定の学校不適応対策事業に係る研修生として、毎日、学校拒否（現在は不登校）児童生徒や高校中途退学者とかかわりをもたせていただきました。どうにもうまくいかず、大学の恩師に会いに行った時のやりとりです。

恩師「お前は、治そうとしているだろう」

私「そうです。どうにかしたいんです。でも・・・」

恩師「だからダメなんだ」「お前のカウンセリングをするのは嫌だぞ」

帰ってから、恩師の言葉の意味を何度も何度も考えました。恩師は、「登校拒否の数を減らしたいというお前の都合で、かかわりをもっているだけ。相手を理解しようとかかわることで、はじめて手立てが見えてくる。』『一人で抱え込むなよ。』』ということをお願いしたのだと気づきギグッとしました。半年後、その生徒は自分の力で登校できるようになりました。

日々、先生方は、児童生徒のよりよい成長を願って指導・支援をしてくださっています。

「諦めることなく、根気強く、一人で抱え込むことなく」です。（by N・H）